

## 白木地域における保育園等の今後の提供体制について

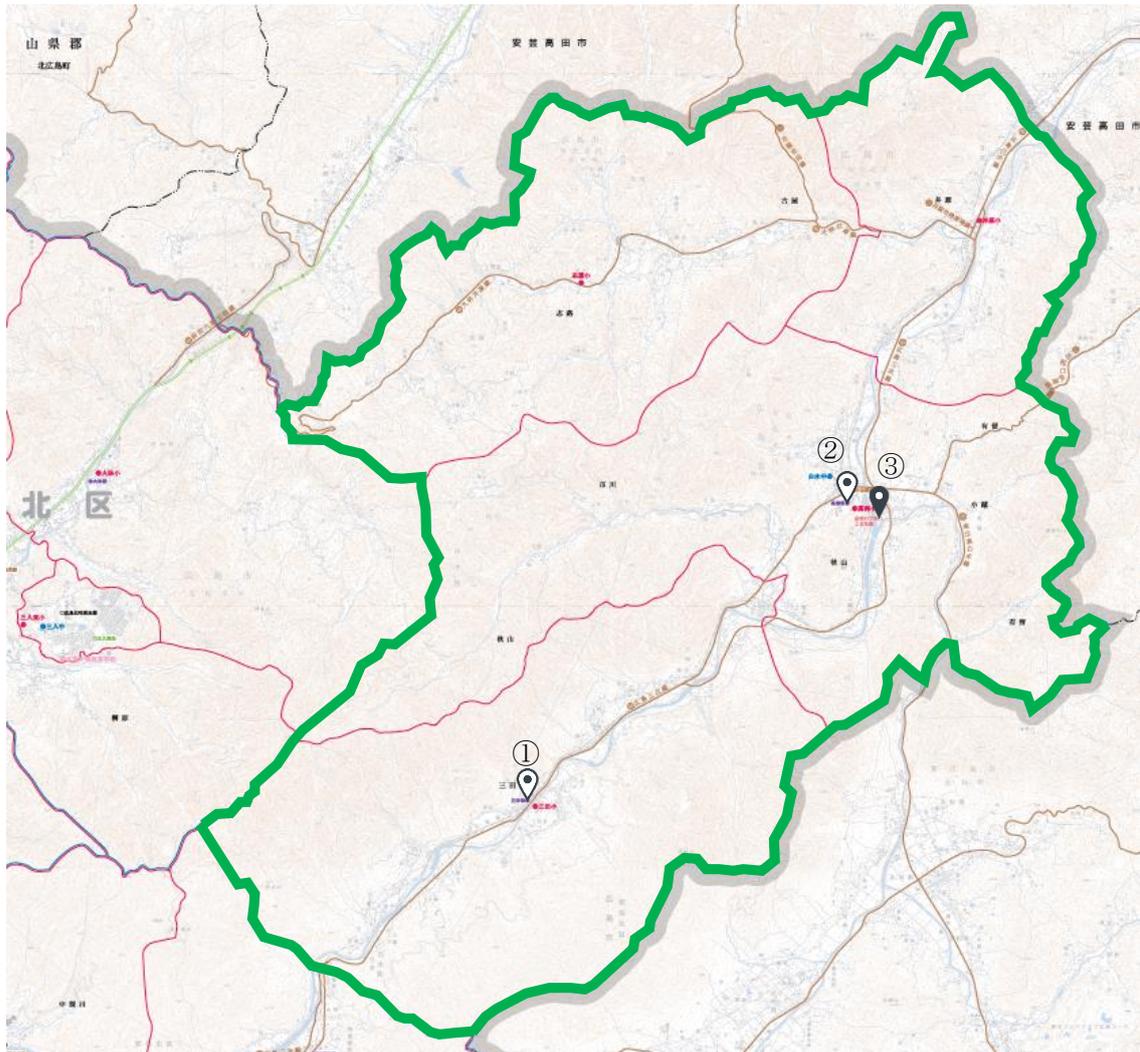
少子化が進展する中においても、10年後、20年後の地域の子どもたちの保育環境を保障することが重要となる中で、既に園児数が相当減少し、今後更なる減少が見込まれる白木地域においては、当面、三田保育園（①）、白木いづみこども園（③）の2園で保育を提供することとし、現に子どもを通園させる保護者の負担等に配慮しつつ、高南保育園（②）を閉園することとします。高南保育園を閉園するに当たっての具体的な取扱いは、次の通りです。

- (1) 在園児に慣れ親しんだ環境での保育を保障するため、現在の在園児が卒園する令和7年度末をもって閉園します。
- (2) 3歳以上の在園児が少ないことから、子どもたちに集団生活の機会を確保するため、令和7年度末の閉園までに卒園する子どもは入園を受け付けます。

また、在園児の弟や妹については、保護者の通園負担を考慮し、令和7年度末までに卒園年齢に達しない場合でも、閉園時の転園を条件に入園を受け付けます。

- (3) 閉園の方針決定を受けて転園される場合は優先度ランクを上位にします。

### 【白木地域における保育園等の状況】



(令和3年4月1日時点)

			0歳	1,2歳	3~5歳	計
公立	三田保育園 ①	定員	—	12名	50名	62名
		実績	—	4名	11名	15名
	高南保育園 ②	定員	—	6名	20名	26名
		実績	—	1名	8名	9名
私立	白木いづみこども園 ③	定員	9名	27名	34名	70名
		実績	2名	19名	43名	64名
計		定員	9名	45名	104名	158名
		実績	2名	24名	62名	88名